

必ずしもこの記載例による必要はなく、それぞれの事情に置き換えて作成してください。

記載例 1 ～ 5

申 立 書

記載例1・・・平成26年中に所得があるが、現在無職・無収入の場合

私の妻〇〇は平成26年中は★★★★により収入がありましたが、〇〇〇〇〇〇〇〇のため現在は無職・無収入であることから、主として私の収入により生計を維持していることを申し立てます。

記載例2・・・平成26年中に所得があり、現在も就労の場合

私の妻〇〇は平成26年中は★★★★により収入がありました。
現在、〇〇〇〇で就労していますが、主として私の収入により生計を維持していることを申し立てます。

※記載例1及び2の★★★★の部分には、所得証明書に記載されている収入、報酬について具体的に記入してください。
(例:〇〇のパート勤務、〇〇委員としての報酬、選挙事務所手伝いの報酬等)

記載例3・・・現在雇用保険を受給中の場合

私の妻〇〇は平成〇〇年〇月〇日に退職し、現在雇用保険を受給中ですが、受給額は限度額以内であり、主として私の収入により生計を維持していることを申し立てます。

記載例4・・・平成26年度に高校（定時制・通信制を除く。）に在学していた場合

私の子〇〇は、平成27年3月まで〇〇〇高校に在学して無収入であり、現在は〇〇〇〇〇〇であることから、私の収入により生計を維持していることを申し立てます。

※ 〇〇〇〇〇の部分の記入例・・・大学生で無収入

記載例5・・・扶養親族（配偶者及び子を除く。）と別居している場合

私は父母と別居していますが、父母の収入は年金のみであり、私が生活費として毎月6万円及び6月と12月の期末・勤勉手当支給時に各10万円、合計92万円を送金しており、父母はそれにより生計を維持していることを申し立てます。

(別居している被扶養者の世帯状況)

氏名	年齢（歳）	職員との続柄	収入の種類及び年間収入見込額
〇〇 〇〇	65	父	厚生通算基礎年金120万円
〇〇 〇〇	61	母	老齢基礎年金 32万円

平成27年〇月〇日

東青教育事務所長 殿

所属 〇〇〇〇学校
職名 〇〇
氏名 〇〇 〇〇 印

必ずしもこの記載例による必要はなく、それぞれの事情に置き換えて作成してください。

記載例6～7

申 立 書

記載例6

(別居の場合)

私が扶養している〇〇 〇〇は、現在別居しており、〇〇 〇〇は障害年金を受給していますが、私は毎月〇〇円を負担し、主として私の収入により生計を維持していることを申し立てます。

(同居の場合)

私が扶養している〇〇 〇〇とは、現在同居しており、〇〇 〇〇は障害年金を受給していますが、主として私の収入により生計を維持していることを申し立てます。

平成27年〇月〇日

東青教育事務所長 殿

所属 〇〇〇〇学校

職名 〇〇

氏名 〇〇 〇〇 印

記載例7

受 領 書

私たちは、子 〇〇 〇〇（職員氏名）から毎月6万円と6月と12月に各10万円の年間合計92万円の仕送りを受けていることに間違いありません。

平成27年〇月〇日

東青教育事務所長 殿

〇〇 〇〇 印

〇〇 〇〇 印

(自署の場合は、押印不要。)